



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月25日

上場会社名 株式会社 クレオ 上場取引所 東
コード番号 9698 URL <https://www.creo.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柿崎 淳一
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 鳥屋 和彦 TEL 03-5783-3560
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト、金融機関、機関投資家、一般投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	6,983	△2.6	429	17.1	437	20.3	288	31.1
2023年3月期第2四半期	7,173	0.1	366	△22.9	363	△26.5	219	△14.0

（注）包括利益 2024年3月期第2四半期 291百万円（41.3%） 2023年3月期第2四半期 206百万円（△19.5%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	36.27	—
2023年3月期第2四半期	27.38	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	9,753	6,867	70.4
2023年3月期	9,748	6,904	70.8

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 6,867百万円 2023年3月期 6,904百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	40.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	2.1	1,070	18.3	1,080	18.4	720	47.8	90.63

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	8,585,688株	2023年3月期	8,585,688株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	636,765株	2023年3月期	641,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	7,947,204株	2023年3月期2Q	8,034,378株

(注) 当社は「株式給付信託（J-ESOP）」及び「株式給付信託（BBT）」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2023年11月2日（木）にアナリスト、金融機関、機関投資家、一般投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料の概要については、開催後当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、国内では新型コロナウイルス感染症の行動制限解除による人流の活性化など、社会活動に回復がみられる中、一方で地政学リスクの高まりによる資源、材料価格の高騰など、依然として先行きの不透明な状況が続いております。当社グループが属するICTサービス市場においては、社会における働き方の変化、人材を人的資本と捉える流れの中で引き続き顧客企業等の需要が堅調な状態にあるものと認識しております。

このような状況の中、当社グループは中長期の経営ビジョンである「100年企業」へ向け、様々なリスクに対して強靱な経営基盤を持ち、持続的な企業となることを目指してまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの状況は、売上高は前年同期比で1億89百万円減少、営業利益は前年同期比で62百万円増加となりました。経常利益は前年同期比で73百万円増加し、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比で68百万円増加となりました。

以上の結果、売上高69億83百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益4億29百万円（前年同期比17.1%増）、経常利益4億37百万円（前年同期比20.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億88百万円（前年同期比31.1%増）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

・ソリューションサービス事業

（人事給与・会計ソリューション「ZeeM」をはじめとするソリューションサービスを提供）

大型案件の完了による反動減などにより、売上高は前年同期比で6百万円減少、営業利益は高原価プロジェクトの収束により、前年同期比で63百万円増加いたしました。

その結果、売上高は22億50百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は2億90百万円（前年同期比27.9%増）となりました。

・受託開発事業

（富士通グループ、アマノ株式会社をはじめとする大手企業に対して、システム受託開発サービスを提供）

主要顧客向けの案件が堅調に推移し、売上高は前年同期比で52百万円増加、営業利益は前年同期比で74百万円増加いたしました。

その結果、売上高は14億31百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益は3億16百万円（前年同期比30.9%増）となりました。

・システム運用・サービス事業

（主に国内大手ポータルサイト事業者に対してシステム開発・保守・運用サービスを提供）

主要顧客からの受注不足などにより、売上高は前年同期比で2億55百万円減少、営業利益は前年同期比で81百万円減少いたしました。

その結果、売上高は10億43百万円（前年同期比19.7%減）、営業利益は1億円（前年同期比44.6%減）となりました。

・サポートサービス事業

（ヘルプデスク、テクニカルサポートを中心としたサポート&サービス及び、社会調査、市場調査などのコールセンターサービスを提供）

BP0サービスの増加などにより、売上高は前年同期比で19百万円増加、採用活動強化による求人費の増加により、営業利益は前年同期比で3百万円減少いたしました。

その結果、売上高は22億57百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は1億79百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、99百万円の増加となりました。

これは主として、受取手形、売掛金及び契約資産が減少した一方で、現金及び預金並びに仕掛品が増加したことによるものであります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、95百万円の減少となりました。

これは主として、ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定が減少したことによるものです。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、28百万円の増加となりました。

これは主として、買掛金が減少した一方で、その他流動負債が増加したことによるものです。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、13百万円の増加となりました。

これは主として、株式給付引当金が増加したことによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、36百万円の減少となりました。

これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上した一方で、配当金の支払いがあったことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動で獲得した資金を、無形固定資産の取得、配当金の支払い等で使用した結果、前連結会計年度末と比較して6億45百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には45億56百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は10億35百万円（前年同期は3億39百万円の収入）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益4億24百万円、売上債権及び契約資産の減少6億80百万円、法人税等の支払額2億38百万円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は59百万円（前年同期は2億16百万円の支出）となりました。主な要因は、無形固定資産の取得による支出55百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は3億30百万円（前年同期は5億65百万円の支出）となりました。主な要因は、配当金の支払額3億32百万円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、2023年5月9日付「2023年3月期決算短信」において公表いたしました数値より変更はございません。

連結業績予想には、リスクや不確実性を含んでおり、そのため様々な要因の変化により、大きく異なる結果になる可能性があります。通期の各連結会計期間においては、以下のようなリスクがあります。

当社グループの多くの事業セグメントは、売上高及び利益が第2四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間に特に集中する傾向があります。両連結会計期間における売上高及び利益計上が計画通りに推移しない場合、連結業績予想と実績が大きく乖離する可能性があります。

個別の事業セグメントに固有のリスクについては下記のとおりです。

ソリューションサービス事業については、受注案件規模が大型化する傾向にあり、受注、検収の時期がずれ込む場合や、プロジェクトの不採算化が生じた場合などには予想と実績が大きく乖離する可能性があります。

受託開発事業については、事業の性質上連結会計年度末に検収が集中しており、検収の進捗により売上計上時期が次期にずれ込む可能性があります。また、当社の主要顧客である大手ITベンダーがシステムのユーザーである官公庁、企業などからの計画通りの受注を行えない場合には、当社に対する発注が行われず、予想と実績が大きく乖離する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,910	4,556
受取手形、売掛金及び契約資産	3,567	2,887
商品及び製品	13	13
仕掛品	293	414
その他	201	212
流動資産合計	7,985	8,085
固定資産		
有形固定資産	267	253
無形固定資産		
ソフトウェア	661	596
ソフトウェア仮勘定	60	44
その他	0	0
無形固定資産合計	722	640
投資その他の資産		
投資有価証券	153	153
繰延税金資産	281	280
その他	341	339
貸倒引当金	△3	△0
投資その他の資産合計	773	773
固定資産合計	1,762	1,667
資産合計	9,748	9,753

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	608	487
未払金	236	300
未払法人税等	174	75
賞与引当金	598	566
プロジェクト損失引当金	197	197
その他	815	1,030
流動負債合計	2,630	2,658
固定負債		
未払役員退職慰労金	22	22
株式給付引当金	88	101
資産除去債務	97	97
その他	5	4
固定負債合計	213	227
負債合計	2,844	2,885
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,149	3,149
資本剰余金	698	698
利益剰余金	3,757	3,712
自己株式	△704	△699
株主資本合計	6,901	6,861
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	5
その他の包括利益累計額合計	2	5
純資産合計	6,904	6,867
負債純資産合計	9,748	9,753

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）
売上高	7,173	6,983
売上原価	5,660	5,395
売上総利益	1,512	1,587
販売費及び一般管理費	1,146	1,158
営業利益	366	429
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取保険金	4	0
助成金収入	0	6
その他	2	3
営業外収益合計	7	9
営業外費用		
支払利息	0	0
投資事業組合運用損	2	1
支払手数料	3	—
為替差損	4	—
その他	0	0
営業外費用合計	10	1
経常利益	363	437
特別利益		
貸倒引当金戻入益	—	2
特別利益合計	—	2
特別損失		
貸倒損失	17	—
固定資産除却損	0	—
ソフトウェア評価損	—	16
特別損失合計	17	16
税金等調整前四半期純利益	346	424
法人税等合計	126	136
四半期純利益	219	288
親会社株主に帰属する四半期純利益	219	288

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	219	288
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	3
その他の包括利益合計	△13	3
四半期包括利益	206	291
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	206	291
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	346	424
減価償却費	131	139
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	△2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6	△31
プロジェクト損失引当金の増減額 (△は減少)	63	—
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	4	13
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	0	0
投資事業組合運用損益 (△は益)	2	1
貸倒損失	17	—
ソフトウェア評価損	—	16
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	173	680
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△142	△122
仕入債務の増減額 (△は減少)	△131	△121
未払金の増減額 (△は減少)	△0	62
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△87	△64
その他	210	278
小計	582	1,274
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△242	△238
営業活動によるキャッシュ・フロー	339	1,035
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11	△4
無形固定資産の取得による支出	△136	△55
投資有価証券の取得による支出	△66	—
投資有価証券の売却による収入	—	2
差入保証金の差入による支出	△3	△1
差入保証金の回収による収入	0	0
その他	—	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△216	△59
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△333	△332
自己株式の取得による支出	△236	△0
自己株式の処分による収入	7	5
リース債務の返済による支出	△2	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△565	△330
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△442	645
現金及び現金同等物の期首残高	4,317	3,910
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,875	4,556

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報）

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	ソリューション サービス事業	受託開発事業	システム運用・ サービス事業	サポート サービス事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	2,256	1,379	1,299	2,237	7,173
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	49	18	217	289
計	2,260	1,428	1,317	2,455	7,463
セグメント利益	227	241	182	183	834

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	834
全社費用及び利益（注）	△467
四半期連結損益計算書の営業利益	366

（注）全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費や経営指導料等であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	ソリューション サービス事業	受託開発事業	システム運用・ サービス事業	サポート サービス事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	2,250	1,431	1,043	2,257	6,983
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	5	10	251	271
計	2,254	1,437	1,053	2,508	7,254
セグメント利益	290	316	100	179	887

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	887
全社費用及び利益（注）	△457
四半期連結損益計算書の営業利益	429

（注）全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、経営指導料及び研究開発に付随する収入等であります。